

第4回就労支援ネットワークフォーラム

～ひきこもりの若者たちの社会参加とは～

“私がはるかぜ書店店長を辞めた理由”^{わけ}

【かながわボランティア活動推進基金21協働事業】

主催 NPO 法人 アンガージュマン・よこすか
就労支援ネットワーク研究委員会
神奈川県県民部青少年課
神奈川県商工労働部産業活性課
神奈川県商工労働部商業観光流通課
神奈川県商工労働部雇用産業人材課



2年前、本法人は就労支援の現場として“はるかぜ書店”を立ち上げ、5人のひきこもり経験者が自らの力で書店を経営しました。この2年間ではるかぜ書店も多くの若者を輩出し、現在は上町商店街のパン屋さん・コンビニで働いている人、北海道へ出かけた人、自営業を始めた人、情報処理会社で正社員として働き出した人、教員ボランティアしている人、もちろんはるかぜ書店で働いている人、引き続き研修を続けている人等など、それぞれの人生を描き始めています。

さて、昨年7月、13年余りのひきこもり経験のある“はるかぜ書店”店長が退職致しました。その節は皆様に大変ご心配をおかけ致しました。年度を閉じるに当たり「元店長が何を考え、どう思っているのか」について対談の機会を持ち、みなさんとひきこもりの意味や社会参加を問いただしたいと思えます。また支援現場のあり方についても再考し、共に悩み共に育つ居場所・フリースペース・就労支援を考えたいと思えます。

ご一緒に考えていただければと思ひご案内いたしますので、よろしくご参加下さい。

◎日時：2008年3月21日(金) 18時30分～21時

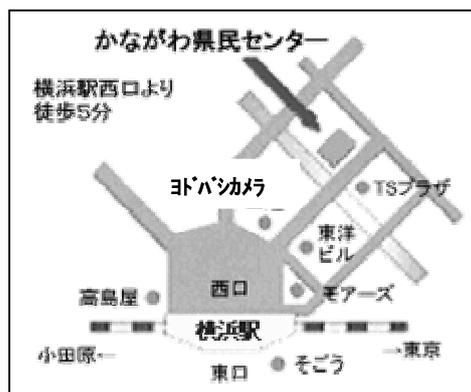
◎場所：かながわ県民センター3階 301会議室

(横浜駅西口) 下図参照

横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

◎定員／90人 ●資料代／1000円

◎内容 対談&パネル討論



※詳細と申し込み方法は裏面を参照下さい

《対談&パネル討論次第》

開会 挨拶 滝田衛 (NPO法人アンガージュマン・よこすか事務局長)

山下良一さん(神奈川県県民部青少年課課長)

第1部：対談「私^{わけ}はるかぜ書店店長を辞めた理由」

○石原直之さん(元はるかぜ書店店長)

○長谷川俊雄さん(愛知県立大学准教授)



(はるかぜ書店)

第2部：パネル討論

「ひきこもりの若者たちの就労の在り方、そして支援の現状を考える」

※県内 NPO 就労支援アンケート経過報告あり

○コーディネーター 長谷川俊雄さん

○パネラー



長谷川俊雄氏

岩田充功さん(リロード)、福守弘文さん(CLCA)、

島田徳隆さん(アンガージュマン)

閉会 挨拶 小林正稔さん(就労支援ネットワーク研究委員長)

●申込み/電話かファックスでお名前と連絡先を3月20日までに
NPO法人アンガージュマン・よこすか Tel/Fax 046(801)7881

※切り取らずに下記用紙にご記入の上 Fax してください。お電話でも。

対談とパネル討論参加申し込み用紙

参加します 氏名 _____

連絡先(Tel) _____

申し込み日 ____年__月__日